

報告 6

平成29年8月3日（木） 香春町立義務教育学校 審議会委員ヒアリング

場 所：町民センター2階 コンベンション室

時 間：15:00～16:00

参加者：13名

審議会委員（区長3名、小中PTA4名、
幼保保護者4名）、防災担当者2名

テーマ：「町民と学校のつながり方・関わり方」

「地域開放利用」

「防災拠点としての役割」

「PTA室地域活動室のあり方」



<ヒアリング内容>

- ・校舎は3階建てということで、低学年と高学年の配置はどうなっているのか。
→提案の段階では、中庭を挟んで北側と南側に教室棟を設ける考え方。北側の1階に1年生、2階に2・3年生、3階に4・5年生、南側の2階に6・7年生、3階に8・9年生となっており、北側に低学年、南側に高学年という分け方をしている。
- ・教室は3クラスなのか。
→クラス数については、町のほうで人口推移を想定して、3クラス必要という考え。
他市町村からの転入など、想定外に人数が増加した場合のために、学級増対応教室を各ユニットに設けている。
- ・図書館は低学年と高学年で同じなのか。
→いま図書館が、パソコン教室と一緒にあったメディアセンターという名前に変わってきている。最近多いのは、昇降口のそば。できる限り子どもたちが行きやすい場所に設けることが大事だと考えている。例えば、夏休みに子どもたちが勉強できる場所としてメディアセンターを開放することなども検討している。
- ・地域のコミュニティスペースに、子どもたちの作品展示スペースを作ってほしい。
→参考にさせていただく。
- ・トイレや洗面所についてはどうなっているのか。
→臭い汚いをなくせるよう、バケツで水を流すのではなく、モップで簡単に掃除できるような形を検討している。また、トイレはドアレスを検討。手洗い場についても、自動水栓になるかは決まっていなが、きれいな手洗い場をつくりたいと考えている。
- ・メモリアルホールで旧校舎の校旗が飾れるようにしてほしい。
→地域の方が見て、懐かしいと思えるような場所をつくりたい。場所については、地域ラウンジ側につくるのか、生徒の昇降口側につくるのか、検討していく。

- ・いまの学校にはないが、新しい学校には設けるような部屋はあるのか。
- 特別に教室を設ける計画はないが、ランチルームと調理室を隣接させ、ひとまとまりで使えるような計画は考えている。
- ・地域開放となると、管理は学校がするのか、町がするのか。学校がするとなると、先生の負担が増え、子どもたちにも影響がでてしまうのではないか。
- 管理については教育委員会で検討する。
- ・部活動が活発になるよう、考慮されているのか。
- 部活動は活発になったほうがいいので、運動場については部活動生優先的とし、地域の方には運動公園を利用してもらおう。体育館については地域開放も検討している。
- ・コミュニティスペースは学校の近くに住んでいる人は使えるが、遠くの人には使いづらく、不公平。
- 新しい学校では、これから PTA やコミュニティスクールの活動も増えるため、そういった部屋を準備することを考えている。跡地の利活用も含めて、関係課と調整する。
- ・部室はどうなっているのか。
- 屋外と屋内の部室数を確認し、計画を進めている。
- ・現在部室の鍵が壊れていて盗難が相次いでいるので、セキュリティ面も考えてほしい。
- セキュリティ面にも十分配慮して進めていきたい。
- ・小学生が騒がしいと中学生が勉強に身が入らなくなるのではないかと心配なため、小中学生で教室の配置を分けてほしい。
- 低学年は基本的には下の階になる。香春町でひとつの9年間のまとまりとして育てていくという考え方で、指導方法が小学生の先生と中学生の先生で違うが、配置には気をつけながら、同じように育てていきたいと考えている。
- ・発電機の設置を考えているのか。
- 考えている。
- ・避難所になった場合、ダンボールで仕切る形でないほうがいい。
- ・ここの地域は、防災の避難マップに入っていないのか。
- 入っていない。勾金中学校地は土砂災害警戒区域ではなく、シミュレーション上は山の土砂もここまでこない。避難所としては優秀な場所。
- ・運動場の方からの逃げ道は確保してあるのか。
- 給食センターの方に門を設置する。(常時開けない)
- ・地域コミュニティや地域利用、防災拠点など、香春町でここだけがその機能をもっても、メリットがあるのは近くに住んでいる人だけ。ここが防災拠点としてどれだけ整備されても、実際災害が起こったとき、ここまで逃げてくるかといったらそうではない。もう少し学校の活動に使えるような、子どもたちに特化した学校にしてほしい。
- 当然学校として成り立たなければならないというのが第一にある。ここだけが避難所になるのではなく、いままでの避難所の場所に避難できるよう考えていかなければならないと思っている。

・全てが子どもたちのためになる場所になってほしい。子どもたちの場所を割いてまで、地域に開放する必要はないと思う。

→防災のためにつくるわけではない。学校が避難所として指定されるので、学校が元々持っている機能を、非常時に上手く生かすことで防災の拠点になれるよう考えていきたい。広いグラウンドは、車で避難してきた人の駐車場や自衛隊の活動スペースとなる。体育館は大勢の人を収容することができるので、うまく避難所として転用できる。計画の中では、体育館が避難所になることを想定して、避難所が他の建物と同じように地震で壊れないよう、構造的には他のものより丈夫につくる。元々の機能をうまく使いながら、避難所として機能することをあらかじめ考えておきたい。そのためには、他が使えなくなっても、ここだけは電気や水、トイレが使えるよう考えていきたい。ふれあいモールでは、災害時に物資の仕分けを行うスペースとしても想定している。避難所のために何かをするというよりは、学校の機能が災害時も上手く使えるよう工夫をしておくという視点で設計していく。

・9学年あるが、体育館1つで全員入るのか。

→全校生徒が入れる広さになっている。

・小中学生が同じ体育館で同じ時間に授業できるのか。

→体育館、アリーナ、運動場をうまく活用してもらおう。

・地域活動室の必要性はあるのか。

→この施設全体が地域のための施設というわけではない。美術室、図工室、理科室、調理室などを開放できればという考え方。学校の機能のそういった特別教室を何らかの形で地域へ開放したり、災害時に炊き出しができたりするようなランチルームや調理室にするなど、機能が少し変更できるような施設計画を考えたい。

・運動能力を向上させるための取り組みはあるのか。

→2つの中学校が1つになり、生徒数も増えるので選択肢が増えると思う。施設面では、ふれあいモールで雨の日に練習が行えることも考えている。教育課程部会のほうで、どういった部活をするのか、運動能力を高めるためにどういったことを行うかなどを考えていきたい。

→今回の敷地の利点として、総合運動公園が隣接していることだと思う。町と連携して、運動公園も最大限に活用できたらいいと考えている。

・屋外でスポーツをするときのため、トイレを屋外に設置してもらえるのか。

→体育館に付随して、外部から土足で行けるトイレを計画している。グラウンドに面したトイレで、男女だけでなく、多目的に使えるトイレも検討している。

・勾金小は運動場を芝生化していて、水はけもよく、子どもたちが外でよく遊ぶようになり、運動能力が向上した。

→芝生化も検討したが、管理が大変なため、芝生化はしない方針。

・プールは運動公園のプールを利用するのか。

→運動公園を利用するという一方で、学校内にプールは計画していない。